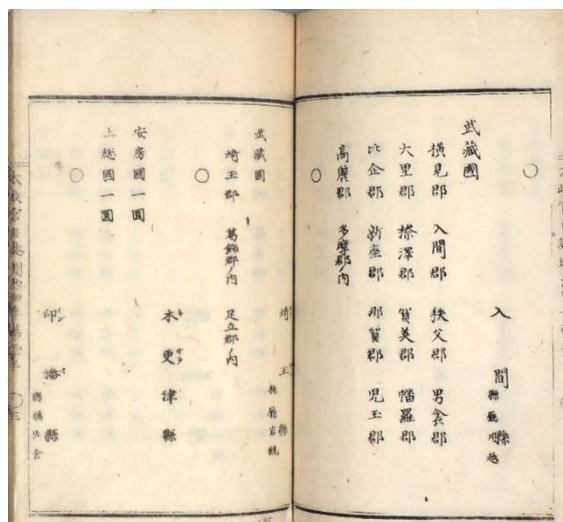


主な展示資料

- 1 埼玉県及び入間県の設置布告（太政官日誌 明治四年第九十三号）
[埼玉県行政文書 明 26-2（国指定重要文化財）]



明治4年（1871）の廃藩置県の実施後に、現在の埼玉県域には埼玉県と入間県が設置されました。おおむね荒川を境に埼玉県は、埼玉郡及び葛飾郡・足立郡の一部、入間県は横見郡、入間郡、秩父郡など13郡及び多摩郡の一部が県域となりました。

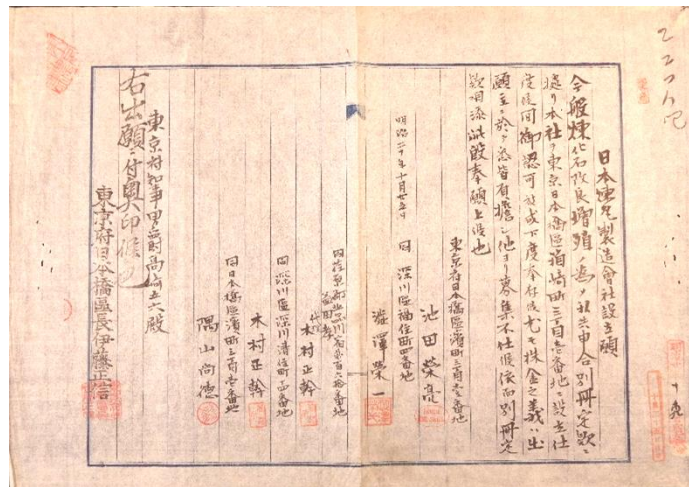
- 2 吉田清英写真（埼玉県行政文書 A16987）



天保11年（1840）生まれ。薩摩藩士として戊辰戦争に参加し、東京府権参事等を経て、明治9年（1876）に埼玉県権参事として赴任しました。その後書記官や大書記官として第二代埼玉県令白根多助を補佐し、明治15年（1882）に第三代埼玉県令、同19年（1886）の制度改正で初代県知事となりました。水害やコレラ流行、秩父事件等への対応にあたり、特に勸業政策に力を入れました。知事辞任後も県内の養蚕業の発展に尽力しました。

3 日本煉瓦製造会社設立願

[日本煉瓦製造株式会社文書 757 (県指定文化財)]



明治20年(1887)10月25日に池田栄亮、渋沢栄一らの連署で、煉瓦製造会社設立願を東京府へ提出しました。その結果、設立の認可を受けました。

4 尾高惇忠古稀祝当日写真 (青木家文書 8927)



尾高惇忠の古稀祝いの日に撮影されたとみられる写真です。尾高惇忠は渋沢栄一の従兄にあたり、学問の師でもありました。幕末には水戸学を熱心に学び、戊辰戦争では彰義隊、続いて振武軍として戦いました。維新後は民部省に入り、富岡製糸場の初代場長として蚕糸業の発展に尽力しました。